



双眼実体顕微鏡で、モンシロチョウの卵を見ると…

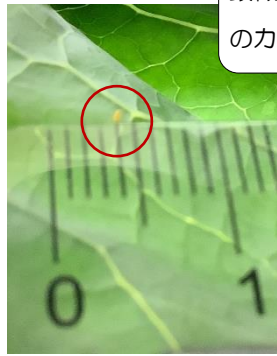
ずっと探し続けていたモンシロチョウの卵がついにブロッコリーの葉の裏に産み付けられているのを見つけました。モンシロチョウは、アブラナ科の植物の葉の裏に卵を産み付けます。キャベツに産むのはご存じかと思いますが、ブロッコリーの葉にも産み付けます。幼虫(アオムシ)にいっぱい葉を食われている我が家の畑のブロッコリーに気付き、もしや卵もあるかも!?!と思い毎日出勤前にブロッコリーの葉の裏を見ていました。ルーペや虫メガネで見るよりも倍率が高いので、鮮明で細かい部分まで大きくはっきりと観察できます。3年生なので、使い方までは指導しませんが、両目でのぞいてごらんと言って観察する時間ももちました。とても良い双眼実体顕微鏡が理科室に買い揃えていますので、ぜひご活用ください。生物顕微鏡とは違って、プレパラートはいりません。見たいものをそのままステージへ乗せるだけでいいので簡単です。

顕微鏡の接眼レンズにタブレットのカメラを当てれば簡単に撮影可。

動画で記録。顕微鏡だといっぱい動いている様子が分かりました。



実際の大きさ



定規を当てて撮影線の太さくらい小さい

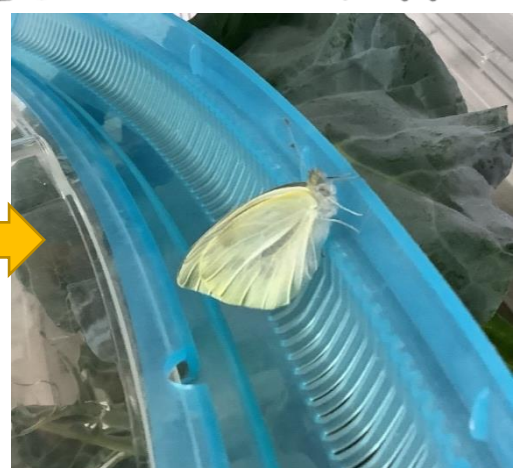


双眼実体顕微鏡で見た卵



生まれたての幼虫は美しい黄緑色で透けている!?

モンシロチョウが授業中に羽化!?!嬉しいハプニング!!



ブロッコリーの葉を採って来た日からずっと張り付いていたサナギです。間もなく羽化すると期待を寄せつつ、羽化のタイミングで動画を撮影しようとするのを待っていましたが、卵を顕微鏡で観察しているときに羽化しました。気づいたときにはすでに遅く、虫かごのフタにとまっていた。サナギが見つからず、あれ!?!いない!?!フタを開けてもどこを探してもいない!!と焦っていたら、フタの裏に止まっていた。子どもたちの前で、探していたので、全員で、羽化をしてすぐのモンシロチョウに出会うことができた奇跡の授業でした。本当に卵から幼虫になり、サナギになって羽化し、やがてチョウになるということが実感できた瞬間でした!!!!

